


【プログラムⅡ-②-5】

テーマ 家庭のしつけとルール

プログラム 携帯電話やインターネットと親の対応②

ねらい SNSに夢中になる子どもの気持ちと親の対応について考える。

<展開(60分)>

| 時間 | 展開(進行マニュアル) | 展開のポイント |
|------------------|--|---|
| 導入 10分 | 1 テーマの説明 2 アイスブレイキング <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 仲間探し 3 「3つの約束」の確認 | <ul style="list-style-type: none"> 参加者の緊張をほぐし、グループ内での円滑な話し合いのためにアイスブレイキングを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <3つの約束> <ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人が主役です ② お互いの意見を尊重しましょう ③ ここだけの話にします </div> |
| 展開 (1) 20分 | 4 なぜSNSをするのかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ① ラベルに記入する <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">  子どもが好きな分野(ジャンル)は何かを思い出してみましょう。 </div> ② ラベルワークを行い、話し合う。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">  子どもたちの興味・関心を知りましょう。 </div> ③ <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">  子どもたちは普段どんな様子ですか。 </div> | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <ワークショップ1(ラベルワーク)> 子どもにとってSNSの魅力ってなあに? </div> <p>例： 「共通の話題で友達とつながれる」 「推し活の話題や情報収集ができる」 「新鮮な情報が手に入る」 「共有することで安心感が得られる」 「リアル動画など、短い時間で楽しめるコンテンツがある」</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども理解に集中する。 マイナス面にこだわらない。 トレーナーは、SNSを視聴しているときの子どもの様子についても共有できるよう声掛けをする。 |
| 展開 (2) 20分 | 5 子どもが受け止めやすい環境や、言葉かけについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ① どんな声かけをしているか、現状について意見を交流する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">  正直に、今子どもに掛けている言葉を出し合ってみましょう。 </div> ② 感想を出し合い、どのような声かけや対応が効果的なのかを話し合う <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px;">  気付いたことや、どのような声掛けが効果的か話し合いました。 </div> | <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <ワークショップ2(話し合い)> 子どもが受け止めてくれる声掛けの仕方を考えよう。 </div> <p>例： 「Wi-Fi切るよ!」「解約するよ!」など</p> <p>例： 「SNSに熱中している最中にやめさせようとするよりも、冷静に話し合える時の方が効果的かもしれない」 「どういう使い方だったら納得できるか、子ども自身に聞いてみようと思う」 「SNSについて教えて」 など</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の声掛けでは子どもが反発することに留意して、受け止めやすい声掛けを考える。 |
| まとめ 10分 | 6 まとめ <ul style="list-style-type: none"> ブックトーク 今日の学習の感想や気づき | <ul style="list-style-type: none"> 感想はもとより、気づきある活動となるよう留意する。 |